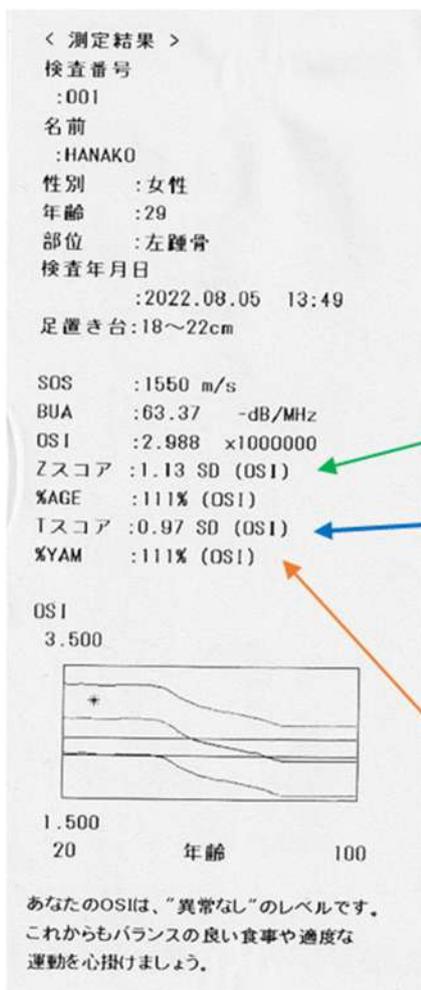


超音波骨密度検査の結果の解説

骨密度測定には種類があります。放射線を使うものや超音波を使うもの、測定する部位によっても結果は変わってきます。この度の健康まつりでは、かかとの骨の強さを超音波で測定します。放射線を使用しない測定方法のため、妊産婦や若年者の方でも検査ができます。

測定終了後、下記のような紙をお渡しします。



Zスコア

同年代の平均値と比べてあなたの測定値がどれだけ離れているかを表した値です。

Tスコア

若い人の平均値と比べてあなたの測定値がどれだけ離れているかを表した値です。

%YAM

若い人(20 ~ 40歳)の平均値との比較を%で表示。

90%以上…………… 正常

80~89%…………… 要注意

80%未満…………… 骨粗しょう症

- ①超音波の伝わる速度の違い(SOS値)から、骨の強さの値(OSI値)が出ます。
- 同年代の平均値から①がどれくらい離れているかを標準偏差で表すのが、Zスコアです。
- 若い人の平均値から①がどれくらい離れているかを標準偏差で表すのが、Tスコアです。
- %AGEは同年代の平均値と、今回の測定値を比較したものです。
- %YAMは若い人の平均値を100%として、今回の測定値を比較したものです。
判定には若い人の平均値と比較した%YAMを用います。

骨密度測定で骨の強度の70%がわかるといわれています。将来の骨折予防として自身の骨の状態を把握する事は食事・運動の生活習慣を整えるきっかけになります。早目に骨密度測定を受けましょう！